

賀正 新年にあたり年頭のご挨拶申し上げます

2017年が明けました。昨年4月22日の東京都連盟創立50周年記念日から本年4月までを「50周年」の年として、7つの地域組織、9つの種目組織がそれぞれの特徴を生かして東京都連盟の50周年をあらゆる場面で、スポーツ愛好者にアピールをしていただいています。それらの活動は、「人々のスポーツをする喜びや楽しみを共有する」ことを求めた活動であり、スポーツをする人々が豊かな生活を営むことへのアプローチであります。新日本スポーツ連盟のお膝元である東京都連盟としては、50年間にスポーツ活動のあらゆる場面で果たしてきた役割は大変大きなものがあります。スポーツ連盟の基本理念「スポーツは万人の権利」は、50年を経て、今、国の「スポーツ基本法」の基本理念となって一段と輝きを増しています。その中でのスポーツ活動は、これからの国民スポーツ、都民スポーツのすすむべき道を示しています。



今年は、東京都連盟の組織を大きくする年です。たくさんのスポーツ愛好者がスポーツ連盟とともにスポーツを謳歌する時代になっています。しかし、ことは簡単ではありません。日本の若者は、学生は高い学費を稼ぐためにアルバイトに明け暮れ、学業が終わったあとは、身分の不安定な非正規労働で長時間にわたって働かなければならず、スポーツをしたくてもできないという状態が続いています。サッカーや野球の種目では、試合をするだけの人数がそろわないということから、チームが激減しているといわれていますが、こうした状況を打開するために、私たちスポーツ団体では何ができるのか、方向性を示す役割を担っていることも併せて考えなければなりません。この時代は、個人種目で組織化をリードすることが、東京都連盟を大きくする一つの方策かもしれません。団体種目は、カテゴリーを広げることやローカルルールを積極的に編み出して愛好者を募ることに知恵を絞るなど、従来の活動スタイルを思いっきり変えてみるというのも、一つの選択肢かもしれません。



いずれにしても、50年も営々と引き継がれたスポーツ連盟の運動を、これからの時代に即した活動を展開して、2万人と言わず5万人の東京都連盟組織になるような夢のような活動を展開することを私たちは、今歩き出したのです。7つの地域組織、9つの種目組織が一段と輝く年にするために、知恵と力を結集していきましょう。



2016年に都連盟主催で再開したバレー大会

さて、2020年の五輪まで3年半となった今、利権が渦巻くオリンピックの様相が濃くなってきましたが、五輪がオリンピックの根本原則に則った、世界に友好と平和のメッセージを発信し、人類の可能性への挑戦にエールを送る一大事業であることを明確に打ち出すことを、大会組織委員会や東京都のオリパラ準備局、IOC、政府などに強く要請していかなければならない時です。大会が終了したら、1兆円もの負債が残るような五輪にさせてはなりません。都民がなにも知らされないままに、税金が湯水の如くゼネコンにつき込まれるのでは大変なことになります。東京都の一年間の予算が13兆円ですから、大会後に1兆円の負債ばかりか、施設の維持管理費が100億円の単位で費やされるというのでは、世界のアスリートのビッグプレイをゆっくり見ることもできません。メダル獲得競争をやめて、既存の施設でひっそりと開催する五輪でも、世界中の人々を魅了するだけの価値のあるオリンピックになるように、大いに声を上げる都市にしていかなければなりません。(理事長 萩原純一)



7回目のオリパラ都民の会提言討論会

東京都連盟のスポーツ活動から

長距離の大会を開催して欲しいとの要求に応じて ～第17回中長距離水泳大会～

12月23日(金祝)に、東京辰巳国際水泳場にて中長距離大会が開催されました。大会名の通り400m、800m、1500mの種目のみの大会で、中長距離の大会を開催してほしいとの要望に応え、今年17回目を迎えました。小学生から大人まで約300名が参加し、普段はな



小学生選手も計時係として協力(右)
赤い板で距離を選手に知らせています(左)

かなか大会で泳ぐ機会が無い800mや1500mの種目を、過去の自身の記録に挑戦したり、制限時間いっぱいまでに悠々と泳いだり、1500m完泳初挑戦など、選手それぞれの目標に向かってスタート台に立ちました。より多くの方に参加してもらうために800mや1500mの種目は、1コースに2名が泳ぎます。そのため自動計測装置が使えないため、参加選手全員に計時を手伝ってもらうシステムとなっており、選手とともに作り上げていく大会となっています。距離が長い分、1レースの時間もかかり出場選手も限られるため、大会収支はどう頑張っても赤字となってしまいますが、スイマーの要求に応えるために今後も継続して開催していきます。東京水泳協議会は今後も多くの方に喜ばれる大会を目指して、皆さんと共に前進していきます。(宮内泰明)



レース終了後の交流会も大好評 ～第15回検見川クロスカントリー大会～

12月18日(日)に東京大学検見川総合運動場で、東京スポーツ祭典と千葉スポーツ祭典として、第15回検見川クロスカントリー大会が開催されました。師走に入り寒さがだんだんと増していく中、前日の17日より暖かくなり、大会当日は朝から快晴となり風もなく暖かく、絶好のコンディションになりました。東京大学の検見川総合運動場は、クロスカントリーコースを含め他の競技会場もありますが、学生が優先という事情があり、会場確保の確定が遅くなり、10月後半から11月中旬までの4週間の短い期間での募集となってしまう事が残念です。このような事情もあり、参加人数は前回より140名少ない約300名がエントリーしました。募集期間については、今後延長等も含め参加者を増やすために考えなくてはならない課題です。



大会は暖かくなったこともあり、10kmレースにおいて、40代の参加選手が全選手の中でトップタイムを出し、素晴らしい成績になりました。レース終了後には、今回で3回目になる選手との交流会を開催しました。この交流会は、回を重ねるごとに選手に浸透してきたようです。飲み放題ではありませんが、ワインやビール、ソフトドリンク、おつまみを片手に参加者同士語らい、また役員とも交流も進んだ大会の締めくくりとなりました。今後も工夫して皆さんの期待に応えられる大会を開催したいと思います。(東京ランニングクラブ 佐藤正美)



東京から全国大会へ ～第31回全国スポーツ祭典～

12月10日～11日、グリーンアリーナ神戸で第31回全国スポーツ祭典が行われました。初日の団体戦では男女合わせて125チームが出場、約600人の卓球腕自慢が集まりました。私たちのチームKuni卓は2002年から毎年参加し、2009年に初優勝、翌年にも優勝することが出来ました。しかし年々大会のレベルが上がり、なかなか入賞もできず悔しい思いをしていましたが、久々の3位入賞で嬉しかったです。しかも42歳の私が一般の部で選手として出場していたので(笑)。

リオオリンピックで男女銀メダルの活躍もあり、卓球界は盛り上がっていると感じます。東京で卓球場を2店舗経営していますが、リオオリンピック後は、ジュニアチームの門をたたく子供達、健康のためにラケットを握る中高年の方々、卓球愛好者が3世代に広がっているのは大変うれしく思います。

東京オリンピックで金メダルを目指している選手の後押しが出来るよう、卓球愛好者の輪が全国にひろがっていけばよいと思います。(Kuni卓 国広哲弥)



～第2回評議員会のお知らせ～

日にち 2016年2月4日(土)

時間 13時30分～16時30分

会場 帝京平成大学池袋キャンパス会議室

(東京都連盟事務所から100m程度池袋寄り 地下)

2015年総会からの各組織の活動総括と今年3月に開催される総会議案について討議致します。各組織の評議員はご出席ください。

～全国連盟 アルバイトスタッフ募集!! ～

新日本スポーツ連盟全国連盟では事務局のアルバイトスタッフを募集中です。新日本スポーツ連盟の活動を支える仕事をしたいという方、ぜひ応募下さい。

<年令、経験不問> <時間、日数、応相談> <会計の経験ある方歓迎>

勤務地:豊島区東池袋2-16-3 (JR池袋駅徒歩10分、東京メトロ東池袋駅徒歩7分)

応募、お問い合わせは 03-3986-5401 まで

【募集期間 2017年1月末まで】

東京都連盟スポーツカレンダー 2017年2～3月

卓球

- ・後期ブログレスリーグ
2/1(水) 東京武道館
- ・関東オープンレディースダブルス
2/27(月) 東京体育館
- ・城南ブロックシングルスPリーグ
3/8(水) 大森スポーツセンター
- ・ブログレスリーグ(女子ダブルス)
3/20(祝・月) 東京体育館(メイン)
- ・ABC=XYZ 団体戦(男子)卓球大会
3/20(祝・月) 東京体育館(サブ)
- ・中高生卓球大会
3/30(木) 31(金) 駒沢体育館他

■北区

- ・北区スポーツ祭典 ABC=XYZ 大会
3/4(土) 桐ヶ丘体育館

■板橋区

- ・レディースペアマッチ大会
2/26(日) 小豆沢体育館
- ・板橋オープン ペアマッチ大会
3/25(土) 小豆沢体育館

■新宿区

- ・3ダブルス大会
3/26(日) 新宿スポーツセンター

■中野区

- ・春季団体戦
3/25(土) 中野体育館

■練馬区

- ・スポーツ連盟交流大会
2/25(土) 中村南スポーツ交流センター

■世田谷区

- ・世田谷オープン卓球大会
3/25(土) 世田谷区総合運動場体育館

■町田

- ・3ダブルス団体戦
3/25(土) 町田市立総合体育館

■多摩

- ・多摩ペアマッチ団体戦
2/20(月) 八王子市 エスフォルタアリーナ
- ・MX ダブルス&女子年代別ダブルス
3/18(土) 立川市 柴崎市民体育館

ランニング

- ・月例多摩川ロードレース
2/12(日) 国立市菅河川敷グラウンド横
- ・月例赤羽マラソン
2/26(日) 荒川河川敷

水泳

- ・東京水泳フェスティバル
3/11(土) 東京辰巳国際水泳場

バドミントン

- ・城北オープンシングルス大会
2/18(土) 滝野川体育館

■北区

- ・高校生オープン大会
3/30(日) 31(金) 滝野川体育館

■新宿区

- ・新宿春季ダブルス大会
3/26(日) 新宿スポーツセンター

テニス

- ・新春オープンテニス大会
3/5(日) 有明テニスの森公園
- ・新春オープン団体戦
3/12(日) 有明テニスの森公園

■練馬区

- ・第29回 NERIMA CUP
2/26(日) 土支田コート

スキー

- ・第40回東京スキー競技大会
2/4～5(土～日) 舞子スノーリゾート

- ・湯の丸山・山スキー教室
2/18～19(土～日)
- ・花岡SL練習会+記録会
2/25～26(土～日)
- ・特別企画お楽しみキャンプ
3/11～12(土～日)
- ・乗鞍岳山スキー入門教室(初心者向け)
3/11～12(土～日)
- ・スノージャンボリー2017
3/18～20(土～月・祝) 志賀高原(予定)

～ 編集後記 ～

2020年のオリンピック、パラリンピックの総経費が1兆6000～8000億円となりました。組織委員会が5000億円負担するとして国と都で残りを負担すると、都民一人あたりいくらの負担になるのでしょうか？ アスリートファーストという言葉のもとできた立派な会場は、オリンピック、パラリンピックが終了したら民間に委託され音楽イベント会場となるのでしょうか。もとマラソンメダリストの有森裕子さんがいっているように、トップアスリートの方はもっと社会性をもってもらいたと思います。

(小林章子)

東京都連盟 第2回評議員会

2/4(土) 平成帝京大学池袋キャンパス会議室 13:30～

2020 東京五輪会場調査ツアー

by オリパラ都民の会

2/26(日) 9:00 JR千駄ヶ谷駅集合

※詳細は、東京都連盟まで TEL 03-3981-1345

新国立競技場、有明アリーナ、海の森水上競技場、アクアティクセンター…などの会場整備問題を徹底調査！